

2024
2.7 (水)12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_OsijBVCISleeKoDfg114ug

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

サービスデザインとはなにか？ 自治体、企業、大学における実践

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)



Key Words

サービス・デザイン

イノベーション・マネジメント

新規事業構築

徳久 悟 准教授

芸術工学研究院



1978年山口県生。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。2007年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士（政策・メディア）。SDN Accredited Service Design Master。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任講師、takram design engineering アソシエイトを経て、2019年より九州大学大学院芸術工学研究院准教授。ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、サービス・デザイン、イノベーション・マネジメントに大きな関心を持つ。人間中心設計、サービス・ドミナント・ロジック、エフェクチュエーションを活用した新規事業構築を実践。主著に『地域発イノベーションの育て方ーリソースから紡ぎ出す新規事業』がある。

研究成果は、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション分野のトップ・カンファレンスである SIGGRAPH や CHI で採択され、SIGGRAPH Emerging Technologies (2003年、2005年)、文化庁メディア芸術祭 (2004年、2007年)、Asia Digital Art Award (2005年、2008年)、FILE (2007年、2008年)、Laval Virtual (2006年、2008年)、U-35 Creators Japan (2013年) など、数々の挑戦的な国内外のコンペティションに参加し、受賞してきた。

現在の研究テーマは、サービス・ドミナント・ロジックを用いたサービス・デザイン・フレームワーク、低所得国における持続可能なイノベーション・フレームワーク、アート思考や意味のイノベーションなどの内発的デザイン手法、複数のサービスロボットを含む人間と非人間のサービスのデザイン手法などがある。

本講演では、サービスデザインとはなにか？という問いに対して、サービスとはなにかという説明から初め、サービスデザインの歴史的変遷を説明し、最新の定義を紹介します。

その上で、自治体、企業、大学といった様々な連携先、さらには、地方都市、低所得国といった様々な実施場所の観点から、過去の実際のプロジェクトを題材として、サービスデザインの具体例を紹介します。本講演を通じて、参加者がサービスデザインに関心を持ち、実践につなげていくためのきっかけとなれば幸いです。